



安城市議会議員 石川つばさ通信 号外

市政レポート

浜岡原発 地盤軟弱

8 月 25・26 両日、新社会党東海ブロックは静岡県御前崎市内でブロック交流会を開催しました。その中で、同市内の浜岡原子力発電所周辺の現地視察を行いました。

原発の正門に背を向け、直線距離にして 200m 少々進むと、山肌がむき出しになった一画に差し掛かります。バチバチと音を立てる高压電線を横目に見ながら山肌に手を触れると、驚くほど簡単にポロポロと崩れていきます。



(左)を少し手で触っただけで(右)の様に崩れる。

浜岡原発はこの軟弱地盤の小高い丘と、太平洋に挟まれるように立地しています。この地盤で、東海地方に遠からずやってくると言われる巨大地震に耐えるのか、極めて強い疑問が残ります。原発そのものの危険性は当然ながら、こうした立地環境を勘案すればなおのこと不安は高まります。

振り返ると、議員になった直後の浜岡視察では、津波対策にも大いなる疑問を抱きました。「砂丘が有るからかなり防げる」と言われた“砂丘”とは、安城で言うところの矢作川の堤防の様なもので、到底 3.11 の様な津波に対処できるものでないことは素人目にも明らかでした。

その後、海側に防潮堤が築られました。防潮堤に対する私の評価はあえて記しません。現地まで足を運ぶことは難しいと思いますが、インターネットの上空写真や中部電力の HP に関連記事がありますので、一度ご覧になり、読者の皆さんご自身で評価いただければと思います。

- 安城からたった 100km のところにある - 改めて考えさせられます。

石川翼事務所 446-0072 安城市住吉町荒曾根 1-245 アワーズビル 2F 南
電話 0566-98-6932 メール ishikawa2011@aria.ocn.ne.jp

編集：石川つばさを支援する会